慢性腎臓病患者の紹介および逆紹介に係る調査結果について

資料１

【調査概要】

○　**調査目的**
令和５年度第２回神奈川県慢性腎臓病（ＣＫＤ）診療連携構築協議会において、検討するべき事項として取り上げたところ特段異議がなく、また令和６年１月に神奈川県腎臓専門医リストを公表し、一定期間経過後のリストの効果を確認するため実施した。

○　**調査対象**
神奈川県腎臓専門医リストに掲載されている県内の病院　56施設

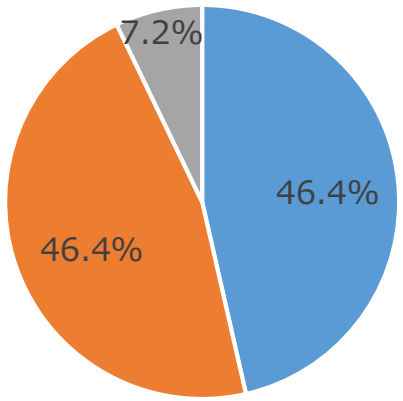
○　**調査内容の時点**
・令和５年７月１日～７月31日（リスト公表前）
・令和６年７月１日～７月31日（リスト公表後）

○　**回答数**
28施設（50%）

慢性腎臓病患者の紹介および逆紹介に係る調査結果について

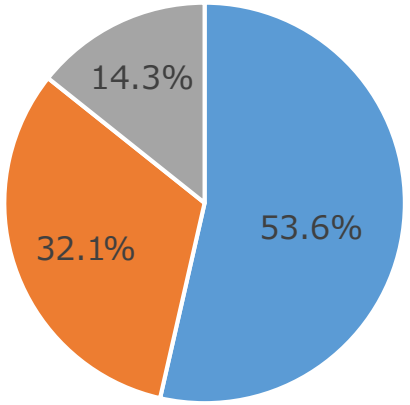
専門医が紹介を受けた数が増加した医療機関は50%弱、専門医が逆紹介をした数が増加した医療機関は50%強と２人主治医制の認識の拡がりが課題

紹介を受けた数



増えた	13施設
減った	13施設
変わらない	２施設

逆紹介をした数

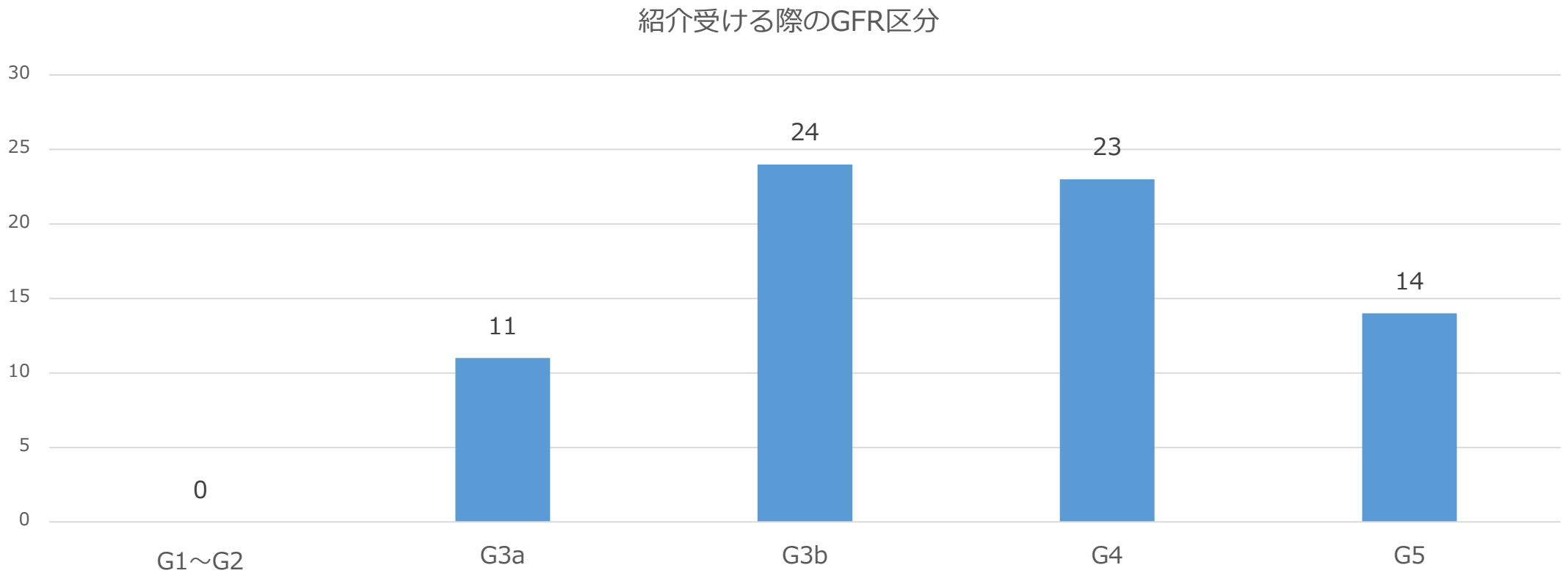


増えた	15施設
減った	９施設
変わらない	４施設

Q1-1.かかりつけ医からの紹介数（令和５年７月時点）
Q1-2.かかりつけ医からの紹介数（令和６年７月時点）
Q2-1.かかりつけ医への逆紹介数（令和５年７月時点）
Q2-2.かかりつけ医への逆紹介数（令和６年７月時点）

慢性腎臓病患者の紹介および逆紹介に係る調査結果について

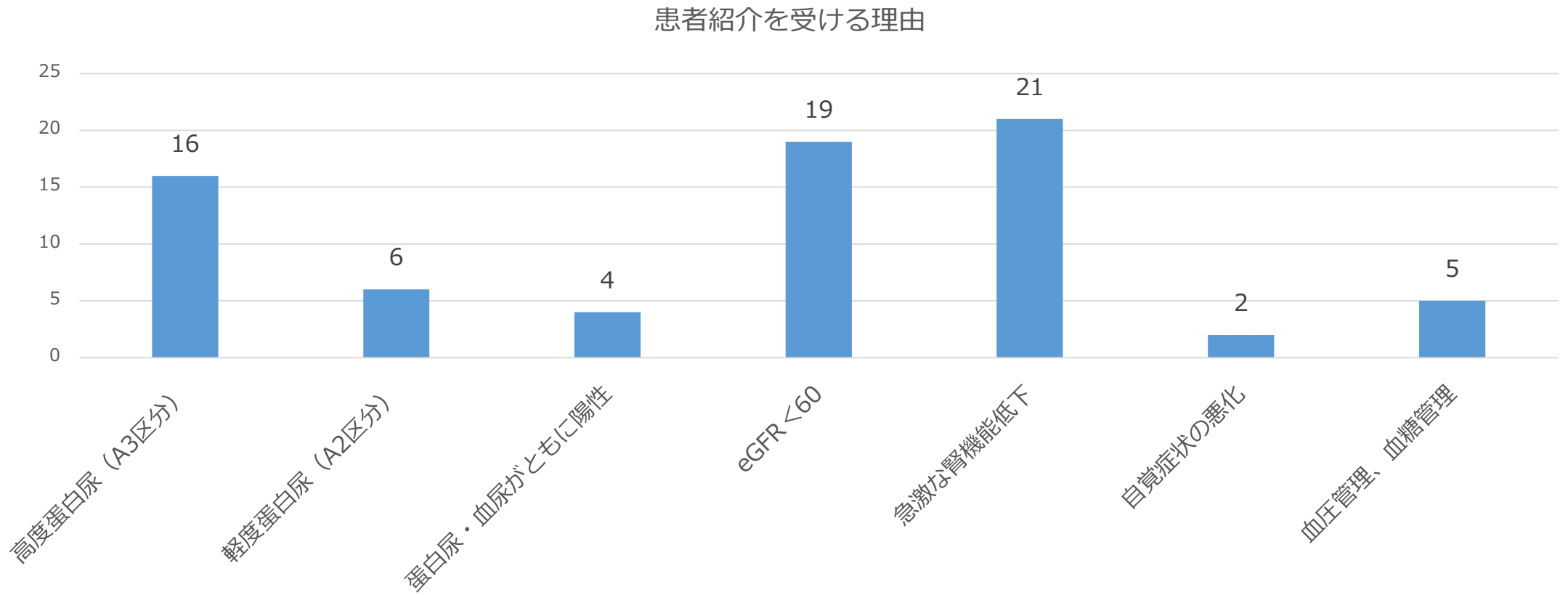
かかりつけ医からの紹介では、G3b（30～44）以上がほとんどで腎臓専門医が望む区分とギャップがある



Q３.かかりつけ医から紹介を受けた患者のうち、特に多いGFR区分は何ですか。（上位３つまで回答可）

慢性腎臓病患者の紹介および逆紹介に係る調査結果について

最も多かったのは、急激な腎機能低下で、２番目がeGFR<60、３番目が高度蛋白尿となっており、急激な腎機能低下の前に紹介が理想



Q４.かかりつけ医からの患者紹介で特に多い理由は何ですか。（上位３つまで回答可）